



World Vision

この子を救う。未来を救う。



コンゴ民主共和国 ルアラバ地域開発プログラム (ZAR-221034)

チャイルド・スポンサーシップは、1人の子どもに直接お金やモノを提供するプログラムではありません。支援地域の子もたちが健やかに成長するための環境を整え、人々が“未来を切り拓く力”を得られるようにする、長期的な支援活動です。チャイルドが住む地域とその課題、現地でワールド・ビジョンが実施している活動についてご紹介します。

地域の課題



地域の中でも特に貧しい世帯の子もたち



保健・栄養、水衛生

- マラリアの罹患率 **50.7%**
- 年齢に対して低身長と診断された5歳未満児の割合 **42.9%**



教育

- 一人の教師に対する児童の数 **90人**
- 働くために小学校を中途退学する児童の割合 **8.9%**



生計向上

- 貧困層・最貧困層に属する人の割合 **34%**
(2018年)



子どもの保護

- 子どもへの身体的・性的暴力、児童労働



教室で身を寄せ合うようにして学ぶ児童の様子

国情報

コンゴ民主共和国

1997年以前の旧国名はザイール。アフリカ大陸の中央に位置し、ウガンダ、タンザニア、ザンビアなど9カ国と国境を接し、西部は大西洋に接する広大な国です。旧ベルギーの植民地であったことから、現在でも公用語はフランス語であり、宗教はキリスト教が80%と主流で、イスラム教、その他伝統宗教と続きます。コバルト、金、ダイヤモンドなど豊富な地下資源を有していますが、長年の内戦や近隣国との紛争で国土は荒廃し、治安の改善が引き続き課題となっています。



ルアラバ
地域開発プログラム

首都：キンシャサ

地域情報

ルアラバ 地域開発プログラム

支援期間：2022年～2023年

*支援期間はプログラム準備期間を含みます。支援終了予定日や活動の目標は、予期しない突発事項やプログラムの進捗状況により、変更される場合があります。

コンゴ民主共和国南東部のルアラバ州の州都、コルウェジから東へ約30kmに位置するルアラバ村とムバンジャ村にて、ルアラバ地域開発プログラムを実施します。現地には隣国アンゴラにつながる国道39号線が通っており、鉄道もありますが、現在は使われていません。サンガ族、ンデンボ族といった民族が暮らし、その多くが農業・漁業を営んだり、鉱山で働いたりして生計を立てています。しかし農業の生産性は低く、収入も少ないため、十分な食事を得られない子どもたちの栄養状態は悪く、また住民の多くが適切な保健サービスを受けられていません。

地域の課題



保健・栄養

幼い子どもの命を脅かすマラリアは蚊が媒介する病気ですが、5歳以下の子どものうち、約半数しか防虫効果のある蚊帳を使っていません。他にもチフスや下痢などが原因で多くの乳幼児が命を落としています。また、多くの妊産婦が適切な産前・産後健診を受けられていません。



教育

小学校の数が少なく、1クラスの人数が平均90人と非常に多い状況です。ほとんどの学校に十分な教育設備や衛生的なトイレが整備されていないこと、また、家計を助けるために学校を中途退学する児童が後を絶たないことなども課題とされています。



生計向上

支援地域では、農業によって自分たちの食べる食料の60%をまかっていますが、伝統的な農法に頼っているため、収穫量は非常に限られています。悪天候などの理由により不作が続くと、子どもたちの栄養状態に大きな影響を与えます。



子どもの保護

支援地域では、子どもへの身体的・性的暴力や、児童労働が問題となっています。特に親のいない子どもや、貧困家庭の子どもたちは、危険な肉体労働に従事させられるなどの被害に遭いやすいことが報告されています。

WVが行う支援活動

- 質の良い保健サービスの提供支援
- 子どもや母親を対象とした、栄養改善プログラムの実施
- 保健センターおよび、妊産婦センターの建設



保健センターの建設などを通じて人々の健康を守ります

- 学校の建設や補修
- 子どもの積極性を引き出す教育法を学ぶ教員研修
- 読み書きの能力を高めるための読書クラブの設置
- 若者を対象とした職業訓練



教室を建設したり、机や椅子を提供するなど子どもたちの学びの環境を整えます

- 貧困家庭への農業研修の実施
- 食料確保のための家庭菜園の推進
- 貯蓄グループの結成
- 農家と市場や金融機関との関係構築



農業研修を通じて収穫量を増やし、収入の安定化を図ります

- 子どもへの暴力に関する報告体制の強化
- 若者を対象としたライフ・スキル（日常生活で生じる様々な問題や要求に対処するために必要な能力）研修
- おとなを対象とした、子どもの権利・保護に関する研修



子どもの権利や保護に関するイベントや啓発活動を行います

支援はチャイルドの生活を変える力となります



支援地域に住むジャッキーちゃんは、シングルマザーの母親と、2人の姉妹とともに暮らしています。母親は4歳の時にポリオにかかり、それが原因でうまく手足を動かすことができなくなりました。家族や周囲からの差別や偏見に苦しんだ上に、学校に通わせてもらえず、読み書きを学ぶ機会もありませんでした。その後もさまざまな困難があり、現在はそれぞれ父親の違う3人の娘たちと野菜を売って生活していますが、不自由な体のために思うように働けず、一家は1日に1度しか食事を取ることができません。

母親は語ります。「娘たちにはたくさん勉強をさせてあげて、尊敬される人になってほしい。私と同じ道は歩ませたくないんです」

ワールド・ビジョンはジャッキーちゃんのような子どもたちが希望を持って成長できるよう、支援活動を行っています。

マイ ワールド・ビジョンに登録しませんか？

登録（アカウント作成）後ログインしていただくと、チャイルドと支援地域の写真や情報がご覧いただけます。ホームページトップの「**支援者の皆さまへ**」に進み、「**アカウント作成**」のボタンから、手続きをしていただけます。

また、右のQRコードからメールアドレスをご登録いただければ、チャイルドや支援地域からの最新動画、イベント情報などもお届けします。



公式SNSでは、世界の子どもたちをとりまく情報を発信しています。
ぜひ「いいね！」や「シェア」をして、お友だちにご紹介ください。

 **FACEBOOK**
@worldvisionjapan

 **Instagram**
@worldvisionjapan

 **Twitter**
@WorldVisionJPN